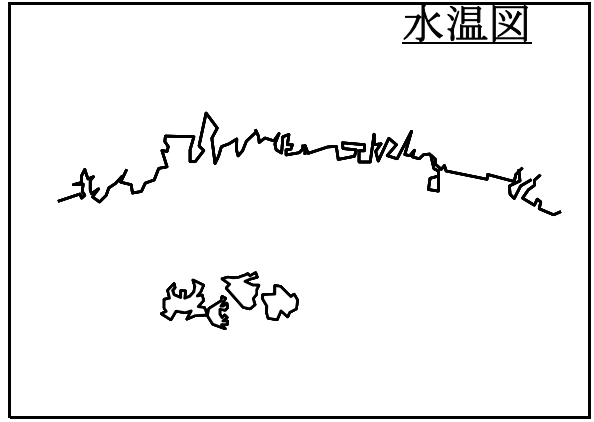


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 1 号)

2020年10月12日発行
 兵庫のみ研究所

この海域全域において、大型珪藻コシノディスカスがかなり多く発生していることもあり、窒素は陸水等の影響を受ける一部地点において概ね $3 \sim 4 \mu\text{g at/L}$ 台となっていた以外は、全域において $1 \mu\text{g at/L}$ 以下の低い値でした。

(栄養塩、珪藻) 今回採水のサンプルではコシノディスカスは海水1Lあたり、赤穂漁場で1500細胞とかなり多かった。沖合の高島から池ノ浜漁場で100~300細胞とやや多く、それ以外の地先および沖合の地点ではわずかに確認される程度の状況。播磨灘全域の表層から底層にかけコシノディスカスが1000細胞前後/L確認されていた(9/30.10/1県水技センター調査) こともあり、栄養塩が大量に消費されたと考えられる。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素		1.5		3.8
	リン		0.33		0.53
家島・坊勢	窒素		0.3		4.2
	リン		0.20		0.61

(10/16)

栄養塩 (窒素) 図

2020年10月12日調査

